

キャラクター名 ウィズ プレイヤー名 _____

シンドローム	ブラックドッグ ブラックドッグ	ワークス	レネゲイドピーイングD	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	外見17	性別	女
覚醒	探求	衝動	解放	初期侵食率	46%
出自	転生体	経験	秘密	邂逅	いい人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	68
肉体	4	0	2		2	8	行動値	10
感覚	2	0	0		2	4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	0	1	1			2	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉	1	
回避	2		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 裏社会		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アームブレード	白兵	8r+3	3	9		ガードが行われた時ガード値-5してダメージ算出
[アタックコード] 60↓ [アタックプログラム]w7	白兵	8r+17	3	9		侵蝕2
[アタックコード] 60↑ [アタックプログラム]w7	白兵	9r+17	3	9		侵蝕2
[アタックコード] 80↑ [アタックプログラム]w7	白兵	10r+17	3	9		侵蝕2

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
思い出の一品		ロイス			
ダーマルプレート		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス 消費
コネ: UGN幹部		実験体	P	N	
携帯電話		もう一人の自分	P 懐旧	N 悔悟	
		仲間	P 友情	N 不安	
		<ダスクティカー>	P 執着	N 脅威	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	4	残り財産P:	1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果:	衝動判定ダイス+Lv個、基本侵蝕+5							
オリジン:サイバー	1	2	マイナ	至近	自身	自動	RB	
効果:	シーン中【社会】判定+ [Lv*2]							
ハードワイヤード	7	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	ブラックドッグ専用アイテムLV個常備化、基本侵蝕+4							
アタックプログラム	7	2	Xジェー	武器	-	対決	-	
効果:	命中達成値+ [Lv*2]							
バリアクラッカー	1	4	Xジェー	武器	-	対決	80↑	
効果:	ガード無効&装甲無視 (Lv回 (1シナリオ))							
雷鳴の申し子	1	5	Xジェー	-	-	対決	ピュア	
効果:	攻撃力+ [(最大HP) - (現在HP)]、エフェクト使用したメインプロセス終了時HP0になる (Lv回 (1シナリオ))							
マグネットフォース	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	ダメージロール前に使用でカパーリング。(1回 (1メインプロセス))							
ハイマニューバー	1							
効果:								
タッピング&オンエア	★		Xジェー			自動		
効果:	無線電波傍受&電波送信し、情報を送受信する							
電子使い	★		Xジェー			自動		
効果:	電子記録媒体の読み取り書き込みができる。							
セキュリティカット	★		Xジェー			自動		
効果:	電子ロックや建物のセキュリティを解除する							
効果:								
効果:								

【ワークス・カヴァー】
カヴァー: 高校生
ワークス: レネゲイドピーイングD
【Dロイス】
実験体
【容姿】
オレンジ色の髪に変遷する空のような色の瞳をした少女。
【性格】
勤勉で素直な性格。
【シンドローム・戦闘スタイル】
ブラックドッグのピュアブリード。
戦闘スタイルはブラックドッグ専用アイテムで体力を底上げし、攻撃を庇いつつ戦う耐久盾×単体白兵型。
【経歴】
AIのレネゲイドピーイングとして生まれ、機械生命体(アンドロイド)に入れられた。
名前の由来は賢さを意味する「Wise (英語)」 「Weise (ドイツ語)」。
【信念】
【台詞例】
「記録しました」
「了承しました」
「否定、それは違います。」
「肯定」